

第49回「5・15沖縄平和行進」

九州地方青年女性部部长

関門支部 小峠 棕

2026年5月15日から18日にかけて本土復帰54年「5・15沖縄平和行進」がおこなわれました。

1日目は沖縄平和行進全国団結式に参加し、沖縄の本土復帰とその歴史そして現在の沖縄の現状についての講義がありました。その後主賓や主催等のあいさつ、行進団の決意表明がありました。

最後に会場全体での団結がんばろうで式は終了し、ホテルに戻り三単産結団式が行われ1日目は終了しました。

2日目読谷陸上競技場を出発し嘉手納基地の隣を歩き北谷ドームをゴールとする嘉手納基地コースを行進しました。今年は天候にも恵まれ参加者全員で「基地のない平和な沖縄を」「命どう宝」のビブスを着用しみんなでシュプレヒコールをあげ行進しました。行進中右翼団体からの妨害等もありましたが無事に参加者全員で行進することができました。

北谷ドーム到着後平和と暮らしを守る県民大会がおこなわれホテルに戻り身支度後に沖縄地本にて交流集会が行われました。

3日目の戦跡巡りでは初めに平和記念公園を訪れ沖縄戦の写真や遺品、そして亡くなった方々の名前が刻まれた「平和の礎」を見ました。次のひめゆり平和祈念資料館では沖縄師範学校女子部の生徒や教師たちの想像を絶するような体験の資料、当時を経験した人たちの証言映像を見ました。次の旧海軍司令部壕では沖縄戦で実際に使われていた壕のなかに入り見学しました。昼食後ホテルに戻り学習会として沖縄タイムス記者の阿部 岳さんに講師になってもらい「沖縄の最前線化と私たち」というテーマで学習会をおこないました。その後三単産夕食懇親会が行われ3日目が終了しました。

3日間を通して私自身沖縄平和行進に2回目の参加でしたが本当に学び、感じる事が多い3日間でした。テレビやSNS等で見る沖縄と実際に自分で現地に行き行進に参加し、市街地に米軍基地があることの異様な光景、戦闘機の離発着の際の騒音を自分の肌で感じる事の重要性、耳で感じる事の大切さを痛感しました。

戦跡見学では、当時の写真、資料等を拝見し凄惨な胸が苦しくなり言葉が出ませんでした。本当に戦争は悲しみしか生まないことを再認識することができ、もう二度とこのような悲しい出来事を起こさないようにしっかり伝えていかないといけないし風化させてはいけないと思いました。

この3日間で学んだ事を自分の支部の青年部としっかり共有していきたいと思います。最後になりますが沖縄地本の皆様受け入れからおもてなしまで大変お疲れさまでした。そして全国の青年部の仲間たちも交流していただきありがとうございました。

またどこかで会った際はよろしくお願ひします。